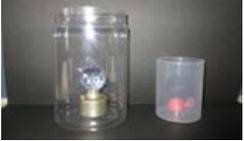
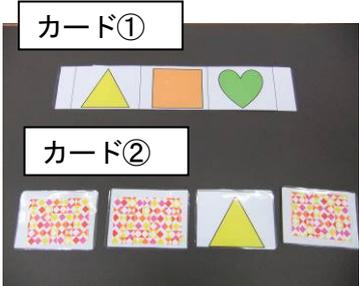


実践教材・教具紹介一覧表

愛媛県立みなら特別支援学校

番号	教材・教具名	紹介メモ
①	ボタン列車 	【小学部】 1年生の「課題学習」でボタンの留め外し練習に使用した。電車を連結することで、意欲的に楽しく学習することにつながった。衣服の場合と違って持ったり見たりしやすい位置に動かせるので、操作を覚えるための教材となった。
②	おみせやさん 	【小学部】 2年生の生活単元学習「おかいものおかいもの」で使用した。絵本「おかいものおかいもの」（ひさかたチャイルド）を基に教材を作製し、スーパーマーケットにある野菜や果物などの名称を覚えたり、上位概念で仲間分けをしたりする学習をした。児童によって、学習する内容や量を調節しやすかった。
③	単語活用ブック 	【小学部】 2年生の「課題学習」で使用した。文字を書くことが苦手な児童や単語を塊で捉えている児童でも、一人で学習に取り組みやすかった。イラストと文字のどちらも取り外せるようになっているため、必要に応じて取り外して学習した。
④	ありの大型模型 	【小学部】 3年生の生活単元学習「ありのかんさつ」で使用した。ありの巣を観察し、ありの体についても簡単に学習した。マジックハンドを利用した大型模型を使って、「いろいろなものを顎で挟んで動かす」ことを体験したことで、ありの顎の動きが印象に残った様子が見られた。
⑤	修学旅行に行こう！ 	【小学部】 学年全体での修学旅行の事前学習としてプレゼンテーションソフトを使用した。時系列での提示や顔写真を用いたことにより、児童は興味・関心を向け、集中して視聴した。内容についての簡単な質問にも積極的に答えた。また、行き先ごとに分けた内容も作成し、学級で行う指導にも用いたことで、より学習が深まった。
⑥	雑巾掛け補助具 	【小学部】 摩擦を少なくするために、中央部分にフェイスタオルを巻いた。腕に掛かる体重の負担が軽く、上半身が起きて頭も上がった。斜め姿勢になるので、前に進むと、自然に足を引き寄せる動きが見られた。

<p>⑦</p>	<p>スイッチ教材</p> 	<p>【小学部】</p> <p>自立活動の時間に、手の操作機能の向上、外界への興味・関心の拡充のために使用した。スイッチを押し続けると、スイッチが光って児童の好きな曲が流れる。児童はスイッチを押し続けて曲を聞いたり、スイッチを短く押したり手を離したりして仕組みを確かめている様子が見られた。</p>
<p>⑧</p>	<p>手指教材</p> <p>①指人形</p>  <p>②筒教材</p>  <p>③ママのかくれんぼ</p>  <p>④マジックテープはがし</p> 	<p>【小学部】</p> <p>①五指を刺激しながら活用し、指の腹で押し付けて貼る動きに慣れる。</p> <p>②筒の中に対象物を強力磁石で固定することで、親指、人差し指、中指でのつまみと引っ張る動きを引き出す。</p> <p>③最も身近な人の写真を用いて視覚探索、目と手の協応、つまむ動作を引き出す。</p> <p>④はがれる音によるフィードバックによって自発的な動きを引き出す。</p>
<p>⑨</p>	<p>「かたち」の神経衰弱ゲーム</p> 	<p>【中学部】</p> <p>数学科の授業で、三角形や四角形などの基本的な図形を理解するための学習に使用した。「かたち」が3種類あるカード①を選択しそれを自分が見付ける「かたち」とし、バラバラのカード②をめぐって同じ形のカードを探すようにした。カード①とカード②の図の大きさを同じにすることで、そばに置いて確認することができた。台形やひし形など微妙に違う四角も扱うことで、細部にも着目して、その違いを探すようになった。生徒によっては、形の名称を確認するよう名称の一覧表を用意して確認した。</p>
<p>⑩</p>	<p>カップ麺セット</p> 	<p>【中学部】</p> <p>国語科の授業と修学旅行の事前学習で活用した。実際に行うオリジナルのカップ麺を作る際と同じ流れで、カップに絵を描き、その後メニュー表から、好きな具材を選んだ。具材を選ぶ際もメニューを注視し、正しく伝えようとする様子も見られた。麺の量を工夫したり、中の具材が見えやすいよう蓋を透明なものにしたりした。</p>
<p>⑪</p>	<p>くぎ打ちの穴すぐできる君</p> 	<p>【中学部】</p> <p>生活単元学習で「木工作品製作キット(愛媛の森林基金)」を組み立てるときに使用した。板をはめ込んで押すと、くぎ穴を開けたい箇所に印が付けられる。手順が分かりやすく、どの生徒も自分で正確に印を付けられた。</p>

<p>⑫</p>	<p>クッキースライス補助具</p> 	<p>【高等部】</p> <p>食品加工班の作業学習で冷凍クッキー（円柱状）を輪切りにするため、補助具を使用した。ガイドに添わせて包丁で切ることで、同じ規格（厚さ）のクッキーを製造した。その際、衛生的に行うため、クッキングシートを敷いて使用した。</p>
<p>⑬</p>	<p>技能検定テキスト</p> 	<p>【高等部】</p> <p>技能検定（喫茶・サービス部門）のテキストと動画を組み合わせで作った電子テキストである。授業で使ったり個人で検定前に確認したりすることを想定し作成した。タブレット端末の読み上げ機能と組み合わせることで、漢字が苦手な生徒でも自分で学習ができた。</p>
<p>⑭</p>	<p>授業支援アプリ【和太鼓の楽譜等】</p> 	<p>【高等部】</p> <p>音楽科の授業で、和太鼓の暗譜や作曲等のために授業支援アプリを使用した。授業の中で、生徒の実態に合わせて直接書き込みながら、生徒自身が確認できる楽譜等を作成した。</p>
<p>⑮</p>	<p>触れる絵本 「うずらちゃんのかくれんぼ」</p> 	<p>【訪問教育】</p> <p>絵本「うずらちゃんのかくれんぼ」（福音館書店）を参考に、立体の対象物を探しやすいよう大きめの画面で作製した。一つの場面でも様々な素材を使うことで、いろいろな感触を楽しめるようにした。場面に応じて触れたり、音を聞いたり、一部を動かしたりしたことで、注目しやすくなったり様々な感覚の刺激となったりした。話に合わせて提示すると、画面を隔々まで見ようとする児童や触れた感触により手に反応が見られた児童や音が鳴ると耳を澄まして聞こうとする生徒など、それぞれの実態に応じて楽しむ様子が見られた。</p>
<p>⑯</p>	<p>スイッチ教材【ボンボン】</p> 	<p>【訪問教育】</p> <p>季節の飾り作りで使用する「ボンボン」を作成するため、小型のハンドミキサーの先に型紙を取り付け、毛糸を巻き取る装置である。スイッチは、押した間だけ動くものを使用した。「どうぞ。」「できたよ。」の言葉掛けを聞き、スイッチを押したり離したりして自分のペースで取り組んだ。</p>
<p>⑰</p>	<p>携帯用鉄琴</p> 	<p>【訪問教育】</p> <p>大きな鉄琴を組み直して、持ち運べる小型の鉄琴を作成した。ばちでたたくことが難しいため、手袋やシュシュにウッドビーズや鈴を付け、手の動きに合わせて音も鳴るようにした。鉄琴の高い音を気に入り、手をよく動かす様子が見られた。</p>